

京都造形芸術大学 芸術学部 通信教育部  
「芸術教養学科」(通称:手のひら芸大)

募集定員: 460名

出願期間: [前期入学]2013年2月1日(金)10:00~4月15日(月)17:00  
[後期入学]2013年9月2日(月)10:00~10月15日(火)17:00

開講科目: 全71科目 135単位 ※別添「学べる科目一覧」をご参照ください。

履修の仕方:



取得できる学位: 学士(芸術)

学費: 入学金 30,000円 ※初年度のみ  
入学選考料 20,000円 ※初年度のみ  
授業料(1年間) 170,000円

ホームページ: <http://www.kyoto-art.ac.jp/t-tenohira/>

システム要件: 学習用 Web サイト「airU (エアアー・ユー)」 / 電子書籍ビューアアプリケーション「BookLooper(ブックルーパー)」を利用のため、以下の要件を満たす必要があります。

■芸術教養学科 Web サイト「airU (エアアー・ユー)」

【PC】

対応OS: Windows XP(32bit)SP3、Windows 7(32bit・64bit)、Mac OS X 10.7  
対応ブラウザ: Microsoft Internet Explorer 8.0/9.0、Mozilla Firefox 11、Safari 5.1 Google Chrome 22  
推奨解像度: XGA(1024×768)以上  
インターネット回線: ブロードバンド(最低)768kbps 以上(推奨)  
※ 動画を視聴するためにPCはFlash Player のインストールが必要となります。

【タブレット端末、スマートフォン】

対応OS: iOS 5.1、Android 2.3  
対応ブラウザ: OS 標準ブラウザ  
※ タブレット端末やスマートフォンについては、機種及びインターネット接続環境等により一部機能等がご利用になれないこともあります。あらかじめご了承ください。  
※ お使いのハードウェア、ソフトウェア環境およびご利用方法によっては、必要環境を満たしていても動作しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■電子書籍ビューアアプリケーション「BookLooper (ブックルーパー)」

【PC】

対応OS: Windows XP (32bit) SP3、Windows 7 (32bit、64bit)、Mac OS X 10.6 以上  
対応ブラウザ: Microsoft Internet Explorer 8.0/9.0、Safari 5.0、Google Chrome 22  
※ 電子テキストを閲覧するためにPCはFlash Player のインストールが必要となります。

【タブレット端末】

対応OS: iOS 5.1、6.0、Android3.0 以上、4.0 以上  
対応ブラウザ: OS 標準ブラウザ

【スマートフォン】

対応OS: iOS 5.1、6.0、Android2.3、4.0 以上  
対応ブラウザ: OS 標準ブラウザ

## 京都造形芸術大学 芸術学部 通信教育部

開 設: 1998年4月

学科コース: 芸術学科

- 芸術学コース
- 文芸コース
- 歴史遺産コース
- 和の伝統文化コース

美術科

- 日本画コース
- 洋画コース
- 陶芸コース
- 染織コース
- 写真コース

デザイン科

- 情報デザインコース
- 建築デザインコース
- 空間演出デザインコース
- ランドスケープデザインコース

芸術教養学科※2013年4月開設

在籍者年代構成:

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
63人	1,090人	1,308人	1,009人	666人	803人	187人	10人	3人	5,139人
									2012年5月1日現在

在籍者男女構成:

男性	女性
1,695人	3,444人
(2012年5月1日現在)	

地域別在籍者:

北海道・東北	関東甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州沖縄
211人	2,247人	111人	397人	1,671人	199人	96人	207人
							(2012年5月1日現在)

日本国内のインターネット大学

**インターネット大学の定義：**  
**正規課程に必要な全ての履修を、インターネットによる学習を前提にカリキュラム構築されている**

大学名	開設	学部名	学科・コース名	取得できる学位	備考
八洲学園大学 (やしまがくえん)	2004年	生涯学習学部	生涯学習学科	学士 (学術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット大学のさきがけ</li> <li>・通学の必要性なし</li> <li>・授業視聴はPC利用が前提</li> <li>・授業視聴は双方向ライブのためオンデマンド型ではない(科目によっては再配信で単位取得も可能)</li> <li>・テキストは、電子テキストではなく現物テキストを利用</li> </ul>
サイバー大学	2007年	IT総合学部	テクノロジーコース	学士 (IT総合学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の必要性なし</li> <li>・授業視聴はオンデマンド型</li> <li>・授業視聴はスマホ・タブレット端末でも可能</li> </ul> ※2007年に同時開設された世界遺産学部は現在募集停止
			ビジネスコース		
ビジネス・ブレイクスルー大学 (BBT大学)	2010年	経営学部	グローバル経営学科	学士 (経営学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の必要性なし</li> <li>・授業視聴はオンデマンド型</li> <li>・授業視聴はスマホ・タブレット端末でも可能</li> </ul>
			ITソリューション学科		
京都造形芸術大学	2013年	芸術学部 通信教育部	芸術教養学科	学士 (芸術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学の必要性なし</li> <li>・動画教材は授業録画ではなく、NHKの豊富な映像アーカイブを本格再編した専用動画をメインに使用</li> <li>・授業視聴はオンデマンド型</li> <li>・卒業までの全課程をスマホ・タブレット端末で受講可能</li> </ul>
京都造形芸術大学広報室がホームページ等を参考にまとめたもの(2012年11月末現在)					

※ なお、上記のほかに、日本福祉大学など、Eラーニングをその通信教育課程に多く取り入れ、履修の仕方によっては、一度も通学することなく卒業できる大学もあります。

### タブレット端末普及動向

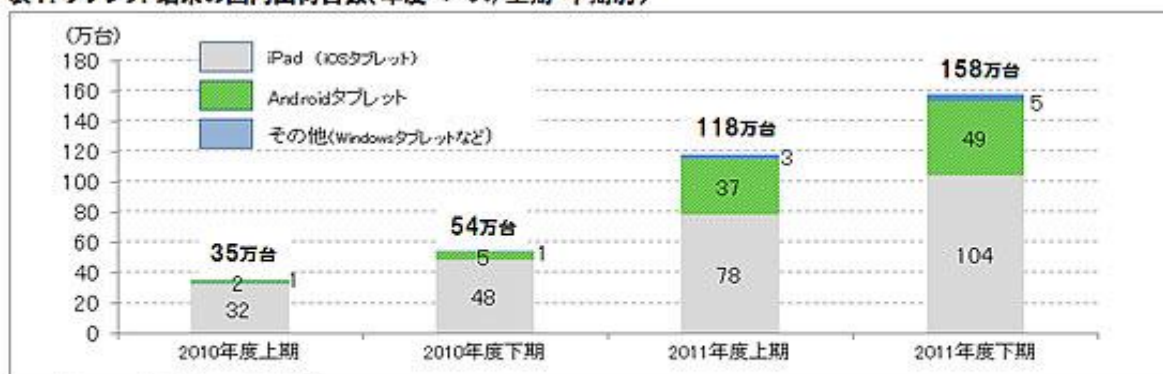
【株式会社 ICT総研 2012 年 4 月 26 日発表「2012 年度 タブレット端末市場に関する需要動向調査」より】

[http://www.ictr.co.jp/topics\\_20120426.html](http://www.ictr.co.jp/topics_20120426.html)

■ 2010 年度のタブレット端末市場は 89 万台、2011 年度は 3.1 倍の 276 万台を出荷

2010 年 4 月にアップルが iPad を発売して以来、タブレット端末市場は急速に拡大してきた。日本国内市場における半期ごとの推移を見ると、2010 年度上期(2010 年 4 月～9 月)に 35 万台だった市場が、その後 54 万台、118 万台、158 万台へと増加を続けている。その結果、2010 年度(2010 年 4 月～2011 年 3 月)の端末市場規模は 89 万台、2011 年度は 3.1 倍の 276 万台へと急拡大した。この勢いはしばらく続く見通しで、2012 年度には 2011 年度比 1.5 倍の 427 万台、2015 年度には 2.9 倍の 795 万台へ成長すると予想される。タブレット端末の主な用途は、web 閲覧、eメール送受信、専用アプリ利用、ドキュメント利用などだが、従来型パソコンを活用していたユーザーが 2 台目のパソコンとして購入することが目立っている。また、これまでキーボードに触れたことがなかったユーザーが従来型パソコンの代わりに購入するケースも増えている。この他にも、スマートフォンで iOS アプリや Android アプリを利用するユーザーが、より大きな画面でアプリを有効活用するためにタブレット端末を購入するという場合もあり、様々なユーザー層に浸透し始めてきたことで市場が活性化している

表1. タブレット端末の国内出荷台数(年度ベース/上期・下期別)



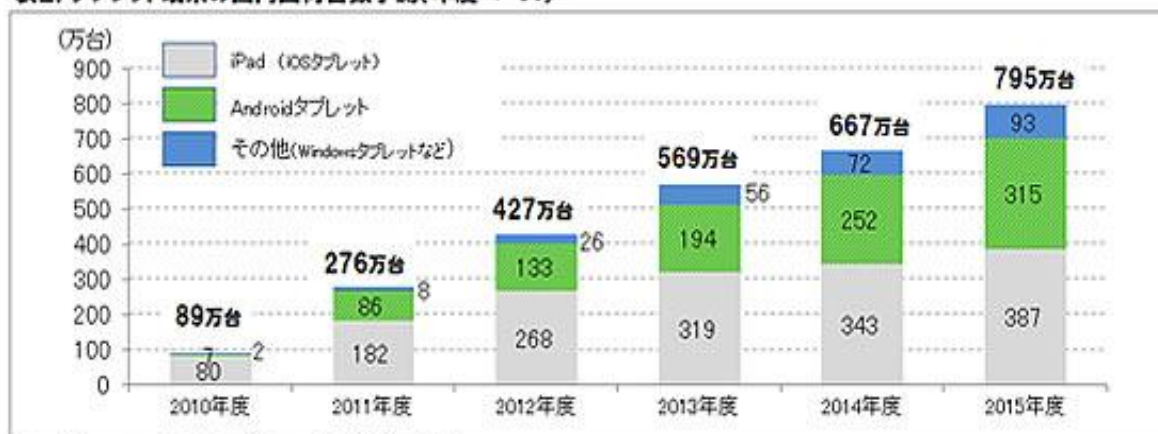
注1 上期:4～9月、下期:10～翌年3月

注2 タブレット端末の定義:タッチスクリーン入力可能な6～11インチ程度のディスプレイを備えたスレート型情報通信端末。

注3 電子書籍専用端末は含まない。

注4 出荷台数には流通在庫分が含まれる。

表2. タブレット端末の国内出荷台数予測(年度ベース)



注1 年度ベース:4月～翌年3月。2012年度以降は予測値。

### スマートフォン利用率動向

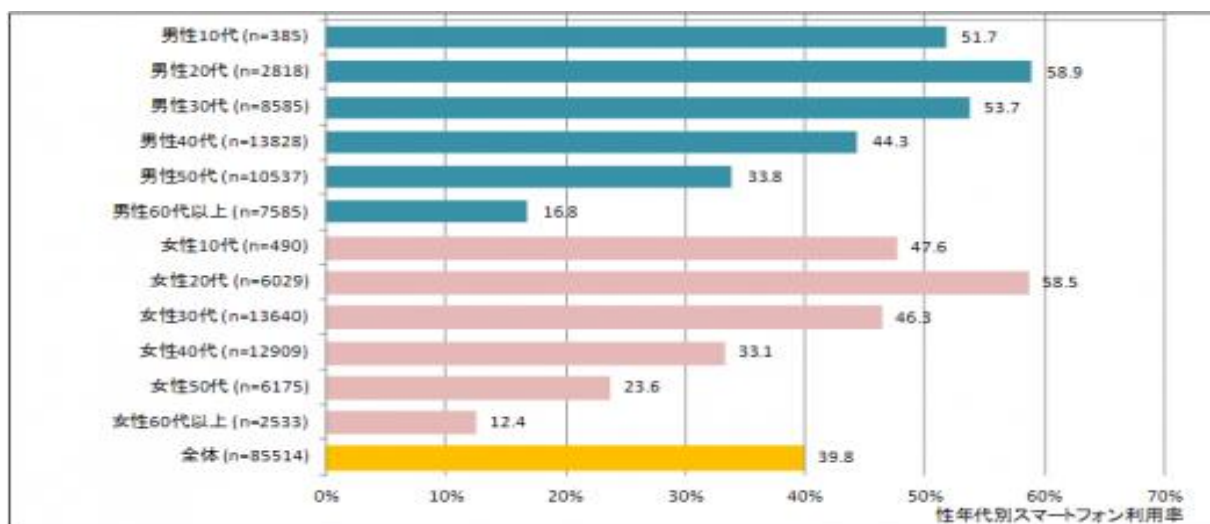
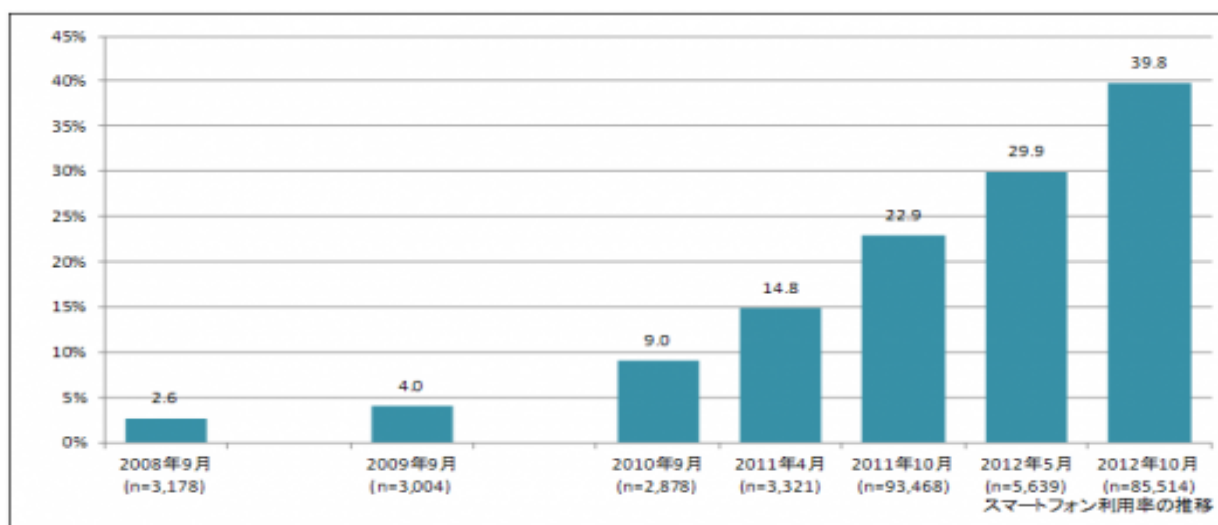
【株式会社インプレス R&D2012年11月22日発表「スマートフォン/ケータイ利用動向調査 2013」より】

<http://www.impressrd.jp/news/121120/kwp2013>

<<個人のスマートフォン/ケータイ利用動向の主な調査結果>>

■スマートフォン利用率は4割に拡大

調査対象者によるスマートフォンの所有率は39.8%となり、2011年10月の22.9%、2012年5月の29.9%から大きく上昇しました。スマートフォンユーザーの4割は2012年度からスマートフォンを利用開始しており、鈍化することなく普及が拡大しています。特に男性20代(58.9%)、女性20代(58.5%)、男性30代(53.7%)、男性10代(51.7%)で利用率が高く、非利用者のうち利用を検討している層は65.5%と昨年に引き続き高い水準です。



出典元連絡先: 株式会社インプレス R&D インターネットメディア総合研究所 編集担当: 柴谷  
(TEL:03-5275-1087/E-mail: [im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp))